



# 碧南ロータリークラブ週報

第2842回例会 平成29年10月18日(水)

- 会長 木村 徳雄
- 幹事 角谷 信二
- 会場監督(SAA) 長田 和徳

2017-2018 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内  
TEL<0566>41-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>  
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール  
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90  
FAX<0566>48-1100



ロータリー:  
変化をもたらす

- 会報委員 貝田隆彦・黒田泰弘・岡島晋一

## ●齊 唱

ロータリーソング「我等の生業」

## ●本日のお弁当

大正館

## ●本日のお客様

名鉄観光バス(株)碧南中央支店 支店長 前田正司様  
 名鉄観光バス(株)旅行営業部 営業推進課 課長 河合洋和様  
 名鉄観光バス(株)旅行営業部 ドラゴンズバックセンター主任 山下波巳様

## 会 長 挨 拶

皆さん、こんにちは。

実は 14 日からベトナムに行っておりまして、今日の朝帰ってきました。ということで、今日はベトナムの話を少ししようと思っております。ベトナムは漢字で「越南」と書きます。昔、中国にあった国の南にある国というのが国名の由来です。皆さんご存知だと思いますが、ベトナム戦争が一番有名ですけれども、第二次世界大戦後の 1945 年にフランス領から独立しました。ベトナム戦争の歴史を綴る戦争証跡博物館というのがあるのですけれども、3 階建ての建物で戦車や飛行機や武器などが飾ってありました。その中で日本のコーナーがたくさんありまして、色々なことで日本とベトナムは関わっているのだなと思いました。



木村徳雄会長

最後に大事なことは、私はタンビンから帰ってきましたので、国内線から国際線に乗り換える必要があります。トランジットで行けばずっと行けるのですが、つつい国内線で外に出ちゃうもんですから、ターミナルが違い大慌てになります。私のような英語もままならな

い方は事前に調査をしておかないと、えらい目に遭いますのでご注意をとということで、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 他クラブの例会変更はございません。
- ・ 10月4日に第4回の理事会を開催致しました。協議事項が全て承認されました。お手元の幹事報告書のご確認をお願い致します。
- ・ 本日、赤い羽根共同募金の募金箱を回させていただきます。よろしくお願い致します。
- ・ ガバナー事務所より「第5回ワールドフード+ふれ愛フェスタ」開催のお礼状が届いております。
- ・ 次週の10月25日の例会終了後に第1回の指名委員会を102号室にて開催致します。関係の皆様方はご出席の程、よろしくお願い致します。



角谷信二幹事

## 委 員 会 報 告

### <出席奨励委員会>

総会員数 68 名 (内出席免除者 16 名の内出席者 10 名)出席者 56 名	
出席対象者 56/62 名	出席率 90.32%
欠席者 12 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※十週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

### <ニコボックス委員会>

- 木村 徳雄君 ベトナムに行ってきました。研修旅行です。行ってよかったです。
- 榊原 健君 10月9日(月)祝日にNHKサッカー解説でおなじみの宮沢ミッシェルを招き、サッカーの指導をしてもらいました。とてもわかりやすくよかったです。
- 角谷 信二君 10月8日(日)区内白山社大祭にて十数年ぶりに餅投げをさせていただきました。まだ肩が少し痛いです。
- 清澤 聡之君 てらまち前夜祭、大盛況にて開催されました。  
クリーン商事様、ミスタードーナツ西尾店様、大変お世話になり、ありがとうございました。盛況を感謝します。
- 岡本 明弘君 西尾工場を開設しました。石橋嘉彦さんに大変お世話になりました。
- 山中 寛紀君 去る10月12日、愛知県庁にて今年度公衆衛生功労者表彰式があり、碧南市健康を守る会が今年度の団体被表彰者として、大村知事より表彰状を受けました。関係各位、諸団体の皆様のお陰と心より御礼申し上げます。

黒田 泰弘君 「秋の安全なまちづくり県民運動」の一環として、「防犯落語」を実施致しました。

荻谷 賢治君 本日、卓話の講師 山下波巳様を御紹介させていただきます。

岡島 晋一君 10月14・15日に開催されました、ワールドフード+ふれ愛フェスタに西三河分区ブースにて出展させていただきました。日曜日はそば降る雨のせいで、来展される人は少なかったですが、土曜日は神野ガバナーをはじめ、沢山の方にお越し頂き、無事2日間を終える事ができました。

杉浦 秀延君 10月15日、大浜てらまちウォーキングにて、宝珠寺にて大浜小学校雅楽クラブのおけいこの発表会を足下の悪い中、堂内大勢のお客様に囲まれ、緊張しながら浜っ子らしく元気に成果を発表できました。今後も応援お願いいたします。

## 卓 話

### 「私のバスガイド体験記」

名鉄観光バス(株)旅行営業部 ドラゴンズバックセンター主任  
山下波巳様



山下波巳様

皆様、こんにちは。私は先程ご紹介頂きました名鉄観光バスの山下波巳と申します。こういった場に立つということは、なかなかないことですので、本当に緊張しております。限られた時間でございますが、よろしく願い致します。

私が入社致しましたのは、平成3年3月でございます。なぜバスガイドになろうと思ったかという、高校2年生の時に学校行事で長野県の車山高原に野外研修に出掛けました。その時に担当してくれたバスガイドさんから色々なガイドの仕事について話を聞きました。どんな話を聞いたのかという、例えば、「仕事で出かけた先では美味しいご当地のお料理が食べられるよ」「観光施設をたくさん見学できるよ」などの目先の華やかな部分だけを聞いて、ガイドの仕事は楽しそうだなと思ひまして、ガイドになろうと決意を致しました。

高校を卒業して束の間、ガイド職は3月14日に入寮を致します。そして、16日に入社式がありまして、同期24人と共に社会人の仲間入りを致しました。これからガイドになるための勉強が始まる訳です。まず、私たちの頃は2週間教育センターという所に通ひまして、みっちり初等教育を行いました。初等教育では、挨拶、発声練習、早口言葉、笑顔の作り方、お辞儀、立ち姿、歩き方、都道府県の名称、高速道路の名称、地図記号の見方などを学びました。

研修期間が終わってからいよいよ独り立ちという訳ではございません。今度は会社に戻りまして、会社の教室でまたみっちり勉強が始まります。まず、実地研修では実際にバスに乗って観光地へと出向く訳ですが、行きのバスの車中は先生ガイドが説明してくれますので、私たち研修生は雑記帳というノートにとにかくその通る道の地図を書きながら、詳細をずっと書き続ける訳です。そして、実際に観光地に出向くと先輩の話を聞き、とにかくメモを取

り、朝早くから夜遅くまで研修を致します。次の日は会社でコースポイントの清書を行います。更には、ガイド教本というものがありまして、難しい歴史や地名の読み合わせの勉強をします。こんな研修を2ヶ月繰り返す訳です。学校生活よりも勉強漬け、さすがに嫌になって辞めてしまう同期もこの時には既に数人おりました。でも、残った同期で励まし合いながら2ヶ月が経ち、見習い乗務として先輩ガイドと一緒に1つのツアーに乗務を致しまして、先輩の仕事の流れを学び、その後ようやく独り立ちすることができました。

最初の乗務は、幼稚園児、学生の遠足のガイドを致しました。ここでは車内でお子さんたちと遊ぶというのがメインでございます。そういった学生の遠足などの乗務を経まして、徐々に6月、7月頃から一般のお客さんと乗務をするようになる訳です。まだ入社間もない新米ガイドですから、そのたどたどしい態度に優しい眼差しで見守ってくださるお客様、笑ってツッコミを入れてくれるお客様、お客様の反応は様々でございます。私も新米ガイドの時に一番心に残っている傷ついた言葉がありました。そんな時に指導ガイドの先生から頂いた言葉があります。それは「お客様は王様です」という言葉でした。神様だったら一生懸命やっていたら失敗してもきっと許してくださると思いますが、王様はそうではありません。王様のおかげで私たちはこうして仕事をする事ができる。そして、王様に満足していただけるように努めなければならないのです。先生からこの言葉を頂いて、なんとなく吹っ切れたのか、失敗は自分の責任なので王様に満足していただけるようにとにかく頑張るしかないという覚悟ができました。それから、たくさんの王様（お客様）と出会いまして、たくさん教えていただき、鍛えていただいて、こうして今の私があるのだなと思っております。

お客様からの感謝の言葉が今でも私の宝物となっております。これが原動力となりまして、私は定年までガイドを続けられるのならば続けたいと思っております。因みにガイドの定年は68歳です。昔はバスガイド料金がバス貸し切り料金に含まれておりましたが、今はバスガイド料金とバス貸し切り料金は別になっております。そうしますと、会社関係のお客様が圧倒的に多いのですが、「若いガイド希望」「20代ガイド求む」などの年齢のご希望が多いです。私共も若作りをして頑張っておりますので、どうぞ皆様、年齢でNGだけはご勘弁頂きますよう、よろしくお願い致します。

拙い話となってしまいましたが、私の体験記のお話を終わらせていただきます。

ご清聴どうもありがとうございました。

## 次回例会案内

平成29年11月1日（水）

クラブフォーラム「ロータリー財団 次の100年に向けて」

地区ロータリー財団委員会 委員長 中村公彦様